

2024_1111「北軽井沢から望む鹿島槍（写真）」日々の理科 3749号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

北軽井沢は、名山に囲まれた高原です。南のから反時計周りに観望すると、浅間山（あさまやま）2568m・黒斑山（くろふやま）2404m、高峯山（たかみねやま）2092m、籠ノ登山（かごのとやま）2227m、湯の丸山（ゆのまるやま）2101m、角間山（かくまやま）1981m、四阿山（あずまやさん）2354m、破風山（はふだけ）1999mと連なっています。更に、本白根山（もとしらねさん）2171m、白砂山（しらすなやま）2149m、浅間隠山（あさまかくしやま）1756m、鷹繫山（たかつなぎやま）1431m、鼻曲山（はなまがりやま）1655m、一の字山（いちのじやま）1336m などを経て、浅間山に戻ります。これらも多くは現在も活動する火山か、かつての火山活動で生まれた山々です。

更に天気の良い日には、西の方角に北アルプス（飛騨山脈）の一部も見えます。特に「四阿山」の左裾の鞍部の「鳥居峠」の上に顔を覗かせている「鹿島槍ヶ岳（かしまやりがたけ）2889m」は、大変良く目立ちます。登山家には「鹿島槍（かしまやり）」と呼ばれて親しまれています。北峰と南峰の二つの山頂を持つ、いわゆる「双耳峰（そうじほう）」の一つで、どこから眺めても見間違えることはありません。11月上旬のこの日、鹿島槍はすでに雪を頂いていました。

(2024年11月上旬／北軽井沢)

